



松江第一中学校だより

江戸川区立松江第一中学校
江戸川区松江5-5-1
校長 瀬戸 完一
令和6年6月10日 第3号

すべての生徒が安全・安心に生活し、夢や希望に邁進できる学校を築く

あいさつの力

校長 瀬戸 完一

あいさつはよりよい人間関係をつくるコミュニケーションの一つだと私は考えます。私達が生活する中でコミュニケーションの働きは、単に事柄を伝えるのみに限りません。人との交わり、心の交流を図るためにも行われているのです。私の経験となりますが、研修会や体験会などで開始の際に簡単なあいさつや自己紹介等をする場面がありました。初めて出会った方ばかりの会では、更に緊張することでもありましたが、お互いのことがある程度わかり、緊張していた雰囲気が一気に和らぎ、少し不安感が解消されたのを感じました。声をかけることにより、お互いが「安心感」を得られた効果だと思います。あいさつは心の交流を促し、お互いに親しみを増していくための第一歩となるのではないのでしょうか。

とはいえ、あなたが感じよく声をかけても、相手はそう簡単に返事を返してくれないこともあるかもしれません。社会に出ると話すべきことがないからと、黙ってやり過ごすわけにはいかない場面もあります。話しかけたからといって、常に親しみが生まれ、良好な関係が出来上がるとは限らないことも確かです。しかし、話し方や振る舞いは、そこにいる人たちにも影響を及ぼします。何気なく発した言葉が他の人に影響を与えることはよくあることです。「言葉づかい」は「心づかい」と言われることもあります。相手を思いやり、言葉に心をのせて行動することを大切にしてみてください。そうすれば、いつか必ず相手の気持ちに届くのではないのでしょうか。お互いのよさや可能性を発揮しながら、他者と協力して物事を成し遂げる力を身につけることも必要とされているのです。

私たちはコロナ禍において、会いたい人にも会えない時間が長く続きました。日常生活の中では、できたことができない日々を強いられてしまいました。その中で改めて気づかせてくれたことは、人と繋がる喜びと大切さではないかと思っています。人は一緒に過ごしながら何気なく触れ合い、会話をする積み重ねがお互いの距離を近づけるのだと感じました。繋がりはお互いを高め合う機会ともなり、視野を広げ新たな発想を生み出してくれます。あいさつは良好な人間関係を構築する土台であり、お互いの心の距離を縮めるきっかけとなるのです。本校の生徒には自らあいさつをすることにより、お互いの心を通わせ、繋がりを大切にしていける豊かな人間関係を築いてほしいと願っています。

子どもたちは家庭、学校、地域社会の中で多くの大人に見守られることで、健やかに育っていきと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。